

## § 1 ウンカ被害対策の新規水稻箱剤についてご紹介

昨年度は、九州を中心に西日本においてトビロウンカの記録的な被害が発生しました。ご当地の東海3県においても、愛知県で22年ぶりに警報が、岐阜県においても注意報が発表されました。「坪枯れ」等の被害が発生し、収量等にも大きな影響がありました。2020年は、長梅雨の影響で「トビロウンカ」が中国大陸から大量に飛来したことと、7～8月の猛暑により大量に増殖したことが原因と考えられます。日本では越冬はしないと考えられるため、今年の被害は天候次第でどうなるかわかりませんが、防除対策をしておくことは大切と思われます。今回は、このウンカ類の防除方法と、新しい箱剤、本田散布剤をご紹介します。

### ＜ウンカ類防除方法＞

1. 育苗箱施用+本田防除：予防としての箱剤施用に加え、移植後2カ月以降の増殖を抑えるために本田散布の実施も重要となります(特に7月中下旬の飛来時)。
2. 薬剤抵抗性への対策：販売されている薬剤でも、効果が低い薬剤(イミダクロプリド、フプロフェンシ)があり、新規の薬剤(ハンス・ビリモキサン、フルビリン)の使用や系統の異なる薬剤の使用を検討する。
3. 防除適期：飛来後1世代、2世代目の幼虫が発生する時期に行う。実際の気温や周辺的环境条件により異なるので、病害虫防除所等からの情報を参考にする。
4. 薬剤散布方法：本虫はイネの株元に生息しているので、株元まで薬剤が届くように散布する。

### ＜箱剤＞

ウンカ類に対し中心となる殺虫剤は、「ピラキサルト(原体名:トリフルメゾピリム)」、「チェス(原体名:ピメトロジン)」であります。ピラキサルトは、新規の作用機構を持つメソイオン系の殺虫剤で、ネオニコチノイドに抵抗性を発展させたウンカ類に効果があります、ピメトロジンは、国内の水稻分野で使用できる作用機構として唯一殺虫剤分類9Bに属し神経伝達異常により吸汁阻害による餓死が引き起こされます。

薬剤名	成分数	播種同時	殺菌					殺虫							
			いもち病	紋枯病	白葉枯病	内穎褐変病	もみ枯細菌病	イネミスズウムシ	イネドロオウムシ	ウンカ類	ツマグロヨコバイ	コブノメイガ	イネツトムシ	ニカメイチュウ	フタオビコヤガ
ヨーバルUG箱剤 (チェス)	3	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ヨーバルパワーEV箱剤 (チェス)	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ブイゲットハコレンジャーL粒剤 (ピラキサルト)	4	×	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
箱将軍 (ピラキサルト)	4	×	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○

### ＜本田剤＞

	成分数	散布	無人航空機	ウンカ類	カメムシ類	ツマグロヨコバイ
エミリアフロアブル (フルビリン)	1	○	○	○	○	○
オーケストラフロアブル (ハンス・ビリモキサン)	1	○	○	○(幼虫)		○(幼虫)

本田用の散布剤で、オーケストラフロアブル有効成分「ハンス・ビリモキサン」は、既存 IRG 剤と異なる作用性で、水稻の難防除害虫であるウンカ・ヨコバイ類幼虫の脱皮を特異的に阻害して害虫の密度を抑制し、既存剤に感受性が低下した個体群に対しても高い防除効果を示します。

## §2 スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ) 捕獲機「貝もとめ〜る」のご紹介

ここ数年被害が多発しているスクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)ですが、今年も暖冬の影響で生育数が多いとの注意喚起が岐阜県病害虫防除所より発表(2021年3月4日付)されております。。

防除には「入れない」「食べさせない」「広げない」という3つの対策が必要となります。

- ①「入れない」: 用水路や取水口の管理を行い、シーズン前の水路の泥上げ、取水口に貝の侵入を防ぐネットの設置を行い、圃場への侵入数をできる限り抑えます。
- ②「食べさせない」: 浅水管理や防除薬剤を使用して被害を防ぎます。
- ③「広げない」: 冬場のトラクターによる耕耘で、越冬個体を駆除します。また、産卵期には、卵を水中に落とすことで孵化を防ぎます。



### 「入れない」捕獲機:「貝もとめ〜る」

弊社ではジャンボタニシのほ場への侵入を防ぐ「貝もとめ〜る」を製造しました。今までは、取水口に簡易的にネットを取り付けているほ場が多かったのですが、ネットではごみや落ち葉等により詰まり水管理を難しくしたり、ネットの破れからほ場へジャンボタニシが侵入したりして、なかなかうまく管理ができなかったことで、金属製の網を製造することにしました。この装置は取水口に設置することにより、ジャンボタニシのほ場への侵入を防ぐだけでなく、ある程度の大きさがあることで、水が詰まることもなく、水管理も容易に可能です。上部には液体追肥施用のタンクも取りつけてあります。試験品もありますので、ご興味のある方は弊社までお問い合わせください。



### 「食べさせない」薬剤散布:登録のある薬剤を使用する。

「スクミノン」	メタアルデヒド 10%	麻痺による殺貝
「メタレックス RG 粒剤」	メタアルデヒド 5%	麻痺による殺貝
「スクミンベイト3」	燐酸第二鉄水和物 3%	麻痺による殺貝(有機 JAS 適合)
「バダン粒剤 4」	カルタップ塩酸塩 4%	神経伝達阻害による食害停止

\* 農薬の使用時には、ラベル表示を十分に確認の上、登録内容に準じてご使用ください。